

令和4年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<飛騨地区> 飛騨市立神岡中学校・飛騨市立山之村中学校・岐阜県立飛騨神岡高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標と重点

(1) 連携型中高一貫教育の目標


「ともに育てよう元気な神岡の子」をめざし、
 ①未来の創り手となるために必要な資質・能力を身に付けた子
 ②自分に自信をもち、夢や目標に向かって挑戦する子
 ③地域に愛着と誇りをもち、地域に貢献できる子 を育てる。

(2) 連携型中高一貫教育の令和4年度の重点

- ・中高教員の授業交流活動の充実による自分から学ぼうとする力の育成
- ・地域の人や産業から学ぶ体験学習の充実による目標に向かって挑戦する心の醸成
- ・生徒、保護者、地域との交流活動の推進による地域に貢献する態度の育成

2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題
資質・能力を身に付けるために	自分から学ぼうとする力の育成	<p>○高校教諭による授業を受けた中学生からは、「授業の内容に興味をもつことができた」「授業の内容を理解することができた」「高校でさらに深く学びたいと思った」などの肯定的な感想がみられた。</p> <p>▲「中学の学びが高校の学びにつながっていることを実感できるような高校教諭による授業」を数学以外でも実施する。</p>  <p>【 高校教諭授業の様子 】</p>
	授業交流 先輩との交流	<p>○先輩と語る会（9月）をオンラインで開催した。オンラインでも進行や質疑応答などがスムーズにできたので、今後もオンライン開催を考えている。</p>
目標・夢に向かって挑戦するために	中高教員の交流	<p>○夏の教員対象高校授業公開と小中高教員交流を実施できた。小学校、中学校、高等学校の教員間の互いの考え、状況、情報を交流できたことは、教員にとって学びの場であり、大きな財産になった。</p>  <p>【 中高職員交流会 】</p>
	出前授業	<p>○ロボット講座では、より専門的な技能に触れることで、飛騨神岡高校への憧れを抱くことにつながった。</p>
	職場体験学習 校内企業展 わくわくワーク	<p>○社会人講話では、地元企業の方を講師として招いた。地元にある企業の理解だけでなく、仕事内容や資格、地域で生きることを学び、将来の進路を考える上で学ぶことが多かった。</p> <p>○地域人材を活用することで、地域ぐるみで生徒を育てる意識の向上につながった。</p>  <p>【 社会人講話 】</p>
	部活動体験	<p>○部活動交流では、普段体験できない中学校にはない部活を体験したり、授業以外の高校生の姿に触れあうことができたりして、貴重な体験となった。</p>

<p>地域に貢献する態度の育成のために</p>	<p>地域での活動 合同活動 地域をつなぐ 情報発信</p>	<p>○ふれあい挨拶運動では、2回目は感染予防を意識しながら合同で取り組むことができた。中高がともに活動する中で、地域貢献への取組の一つとなった。</p> <p>▲オンラインを活用し、もっと構えず楽にできる形で生徒会や学校行事、活動について交流ができるとよい。</p>	
	<p>地域との交流の推進</p>	<p>○コロナ禍により、学校行事に地域の方々を招待することは難しかったが、各学校で取り組んでいる内容について、学校だよりやHPを通して発信することができた。地域の方々に興味をもってもらおう手立ての一つとなった。</p>	<p>【 ふれあい挨拶運動 】</p>